

JEMIMA会報



JEMIMA会報

No. 3
July 2011 vol.48
www.jemima.or.jp

目 次

2 ● 第51回（平成23年度）定時総会報告

- ・ 総会報告
 - ・ 新会長挨拶
 - ・ 平成22年度事業報告概要
 - ・ 平成23年度事業計画概要
 - ・ 平成23年度委員会組織図
-

11 ● 第51回（平成23年度）関西支部定時総会報告

12 ● お知らせ

- ・ 平成23年春の叙勲受章者
 - ・ 新入会員
 - ・ 平成24年経済センサス・活動調査実施
-

14 ● 欧州環境規制レポート（第23回）

18 ● 「計測展2011 TOKYO」企画概要のご紹介

23 ● 委員会活動報告

- ・ 平成22年度委員会活動成果報告会
 - ・ 委員会開催録
-

30 ● 刊行物案内

32 ● 統計（電気計測器生産統計 2011年4月）

34 ● 計測会館・界隈物語（2）

● 広告掲載会社

リオン株式会社 (表3対向)

日本電気計器検定所 (表4)

第51回（平成23年度）定時総会報告

第51回（平成23年度）定時総会と懇談会が、下記の日程で行われました。

開催日：平成23年5月18日

場 所：クラブ関東

出席者：81名（委任状含む）

小野木会長が議長となり、開会を宣言し、吉原専務理事の説明により、次の議案について審議し、承認されました。

第一号議案：会員代表者変更に伴う理事選任の承認

第二号議案：平成22年度事業報告及び決算報告の承認

第三号議案：平成23年度入会金及び会費算定基準（案）
の審議、決定

第四号議案：平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）
の審議、決定

第五号議案：一般社団法人への移行と新定款（案）の審議、決定

第六号議案：役員の改選及び選任

第六号議案により決定した新体制は次のとおりです。

会長 堀場 厚（株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長）

堀場会長

副会長 海堀 周造（横河電機株式会社 代表取締役社長）

副会長 戸田 博道（アンリツ株式会社 取締役会議長）

副会長 小野木 聖二（株式会社山武 代表取締役社長）

専務理事 吉原 順二

小野木現会長からの会長退任の挨拶と堀場新会長からの会長就任の挨拶、内田現副会長から退任の挨拶、海堀新副会長からの副会長就任の挨拶がありました。

総会終了後、同会場にて「平成23年度春季経営者懇談会」が開催されました。

堀場新会長の挨拶の後、乾杯の発声が海堀新副会長からあり、次に来賓を代表して経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長 吉本 豊様からご挨拶をいただきました。

会員・来賓での懇談となり経営者懇談会は盛況に終了しました。



海堀副会長



経済産業省 商務情報政策局
情報通信機器課 課長 吉本様

新会長就任にあたって



社団法人 日本電気計測器工業会
会長 堀場 厚

この度、社団法人日本電気計測器工業会の新しい会長に就任いたしました堀場製作所の堀場です。当工業会の会長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日本電気計測器工業会は1948年に設立されており、過去の会長の強力なリーダーシップの下で、一貫して先端産業の担い手としてわが国の技術レベルを高め、ひいては電気計測器産業の国内外における地位を向上させてまいりました。

このようなタイミングで、私が会長を拝命することは身の引き締まる思いがいたしますが、就任にあたっては、歴代会長の確立された方向性を継承しつつ、大きく変化を遂げつつある電気計測器産業を次の段階に飛躍させるための基礎を構築することが使命であると考えています。

過去において、一つの工業製品群として明確に規定できていた「電気計測器」は、急速な技術の進歩によって今やその応用分野を大きく広げ、ある物は設備制御機器、PA、FA機器に組み込まれて、独立した製品として製造販売されることが少なくなり、またある物は、フィールドにそのアプリケーションを広げて新しい計測分析用途にと、多くの産業分野において必要不可欠な機器としての地位を確立しています。

しかし、わが業界は、規模的には成長傾向にあるとは言えず、かつ自動車工業会、電機工業会などの巨大な業界よりははるかに小規模で、しかもその会員には大手電機メーカーなどの大企業と、コンポーネントや小型機器などを製造する中小規模の企業が混在するという特徴も持っております。

従って、会員企業に中小規模の企業も多い日本電気計測器工業会においては、『規模よりも質の向上』を目指し、常に最先端技術を開発し続け、それを応用した高付加価値製品を顧客に供給し続けることによって世界の基幹産業に貢献しなければなりません。そのためにこそ、わが工業会の活動としては業界の次なる飛躍のための基礎を確立してゆくことが肝要であると考えます。

そこで会長に就任するに当たり、具体的な重点方針として、以下の3項目を打ち出します。

その第1は「国際化推進」です。

国際標準化活動には大きく貢献する当工業会ですが、加えて、友好団体との国際的ネットワークを強化して協力事業を推進し、JEMIMAの国際的な地位向上を図ります。

第2は「計測展の改革」です。

必ずしも成長しているとはいえない計測展の現状ですが、これを機会にその基本的コンセプトを見直し、今後の方向性を決定したうえで、連携すべき展示会を特定して関係を強化します。また、海外の友好展示会も特定し、相互出展などの協業を推進します。

そして第3は「JEMIMA基盤強化」です。

上記2項目の重点方針を実現するために、まず各委員会事業を整理して委員会相互間の連携を強化します。さらに新会員の入会を促進し、かつ、これら諸施策を有効に推進するため、工業会のホームページ、会報、プレスリリースなどのメディアを改善し、対外、対会員の情報の受信・発信機能を強化します。

具体的な施策はこれから企画委員会を中心に検討を行って策定し、実行していきますが、俊敏かつ徹底的に改善を進めていく所存ですので、会員各位のご指導とご協力を心よりお願いしてご挨拶と致します。

【平成22年度事業報告概要】

平成22年度の当工業会会員各社の生産額(暦年)は、電気測定器が、対前年比で183億円増となる等 全機種で前年より増加し、全体で11%増の総額3,330億円となった。

平成22年度は、事業計画作成指針で定めた様に、エネルギー環境分野での取組の強化、広報・展示機能の有機的な連携によるJEMIMAの発信力の強化、およびアジアを中心とした国際活動の充実を図ることを重点事業とするとともに、「中期ビジョン」実行の3年目にあたり、3年間の実行結果を総括し、次年度以降のJEMIMA活動の構想を検討した。

また、公益法人制度改革に対応し、るべき姿を見据えた工業会に変革すべく、事務局・企画委員会を中心に一般社団法人への移行準備を計画的に進めた。

以下、平成22年度事業計画書に添った順番で、実施内容を報告する。

1. 次期3カ年計画の策定

2008年に策定されたJEMIMA中期ビジョンでは、「会員企業からの期待」、「会員企業のお客様からの期待」、「社会からの期待」に応えるという工業会の“るべき姿”を達成するために、「8つの事業」の推進と「3つの基盤」の強化を進めてきた。

次期3カ年計画では、この枠組みを継続し、以下の「7つの事業」と「3つの基盤」について、今後3カ年の目標と重点施策を定めた。

「7つの事業」

- 国内外規制動向調査
- 国際標準化推進
- 統計
- 技術開発テーマ探索
- 広報
- 展示会
- セミナー

「3つの基盤」

- JEMIMAの体制強化
- 委員会活動の活性化
- 会員サービス強化・会員拡大

なお、次期3カ年計画の策定にあたっては、企画委員会が中心となり、今年度から四半期毎に開催した委員長連絡会議等の場で、全委員会及び事務局が情報共有・横断的な議論を行った。

2. エネルギー環境分野への対応

平成22年度に立ち上げた、エネルギー・環境政策委員会では、JEMIMA会員企業が省エネに多大な貢献をしていることの具体的な事例を調査した。また、IEC TC65 JWG14(Energy Efficiency in Industrial Automation)でのドラフト作成に参加した。スマートグリッドに関しては、国際標準化重要アイテムについてJEMIMA会員各社の製品を用いた計測と制御の方法と効果を説明した、「ベストプラクティス集」を作成した。

3. 計測展2010 OSAKA

計測展2010 OSAKAを、10月6日(水)～8日(金)グランキューブ大阪で開催し、出展規模は前回をほぼ維持し、44社 125小間（前回比92%）、来場者数は微増し6,341名（前回比103%）、カンファレンス聴講者数は、大幅に増加し1,673名（前回比152%）となった。特に新たな試みとして行った、ラウンドテーブルセッション、テーマ展示ゾーンには多くの来場者が集まった。

4. 法規制・環境グリーンに関する事業

改正RoHS指令を中心とする欧州環境規制に関して、欧州駐在委員とも連携をとり、最新情報の収集、会員企業への情報提供、関係機関への意見提出を行った。平成23年2月に欧州の生産者、欧州委員会環境総局、英国政府機関、業界団体等を訪問し、改正RoHS指令に関するディスカッションを行い、お互いの考えに乖離のないことを確認した。

中国版RoHS、インドe-waste等、欧州地域以外の環境関連規制に関しても、情報収集、会員企業への情報提供、関係機関への意見提出を行った。国内カテゴリ8&9関連工業会連絡会や経済産業省主催の改正RoHS合同勉強会にコアメンバとして参加し、重要な役割を担った。また、IEC/TC66（制御及び研究室用電気機器の安全性）国際会議にJEMIMAから参加した。

5. PAFA計測制御に関する事業

安全システムを含む機能安全に関する標準規格及び対応製品についての本格適用・実用化と普及定着を図るための機能安全調査研究、セキュリティ調査研究、またPA計測制御機器分野で普及しつつある工業用無線技術を中心に調査研究を進め、計測展2010 OSAKAでのセミナー、SICE2010 Annual Conference Taipei Workshopで講演した。

6. 国際化に係わる事業

(1) 国際標準化の推進

IEC/TC65（工業用プロセス計測制御）、IEC/TC45（原子力計測）では、国際会議への派遣も含め国際標準化作業に貢献した。特にIEC/TC65では新たな活動として、JWG14（Energy Efficiency in Industrial Automation）でのドラフト作成に参加した。

(2) 海外工業会との交流

海外工業会との交流については、韓国のKMIRA（韓国計測機器研究組合）、台湾のTEEMA（台湾区電機電子工業同業公会）、中国のCIMA（中国儀器儀表行業協会）との交流を進めた。

(3) 国際学会、展示会への参加

SICE2010 Annual Conference Taipei WorkshopでJEMIMA企画のセッションを担当した。また、TAITRONICS（台湾）でJEMIMAコーナー展示を行った。

(4) 中国の環境計測ビジネスに関する調査

環境計測委員会で中国での環境事情の調査、中国の環境計測ビジネスの現状と今後の方向性に関する現地視察を行い、報告書を発行した。

7. 計測展2011 TOKYO

理事会では会員企業からの出展率向上を目指した計測展の将来像の検討審議を行い、計測展2011 TOKYOの実行委員会については全理事会で構成することとし、企画立案、募集準備までを進めた。

8. 受託事業

(1) 産業オートメーション分野におけるネットワーク標準化

平成22年度の経済産業省「社会環境整備・産業力強化型規格開発事業」の枠組みで、生産現場フィールド機器の無線化とコントローラ間の高信頼性・リアルタイム通信に関する調査業務を行い、有線・無線の各々の国際標準化提案し採用された。

(2) JIS原案作成

今年度は、下記のJIS原案作成を行った。

- ① JIS C 61326-2-3 計測・制御及び試験室の電気装置 電磁両用性（EMC）要求
- ② JIS/TR C 61158-1 産業用通信ネットワーク フィールドバス仕様
- ③ JIS C 508-1, -4 電気・電子・プログラマブル電子安全関連の機能安全
- ④ JIS C1610 熱電対用補償導線
- ⑤ JIS Z 4337 据置型β線用物品表面汚染モニタ
- ⑥ JIS Z 3202 ガイガー・ミュラー計数管

【平成23年度事業計画概要】

平成20年に策定した「中期ビジョン」の枠組みの下に、平成23年度から始める3カ年計画の初年度として、今年度は下記を重点項目とし事業を進める。

- ・エネルギー環境分野への対応政策提言と国際標準化活動強化
- ・計測展2011 TOKYOを成功に導く企画推進と、将来への継続的発展
- ・東アジア圏を中心とした国際連携の推進
- ・国内外他団体・組織との連携
- ・会員数の増強
- ・公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革の対応については、JEMIMAの将来の有るべき姿を見据え、事務局と企画委員会を中心に一般社団法人への移行を計画的に進め、今年度中に内閣府に対し一般社団への移行申請し、平成24年度から一般社団としての運用開始を目指す。

1. 調査研究・広報事業

(1) エネルギー・環境政策

平成22年度に発足させたエネルギー・環境政策委員会を中心に、本分野は最重要点事業として、国際標準化も含め取組む。今年度は、「エネルギー効率向上を支える計測制御技術」等を報告書としてまとめる。

(2) 需要予測

ユーザーニーズと市場動向を反映した中期予測の作成とスピーディな情報発信を行い、主要機種ごとの分析をプレス発表も含め外部へ情報発信する。また、グローバルな視点での需要予測について検討を進め。さらに、独占禁止法へのコンプライアンスの観点で作成したガイドラインを強化する。

(3) 法規制・規格

国内外の電気計測器及び関連製品のEMCおよび電気/光安全に係わる各種法律や関連規格の制定・改廃に関する情報を収集し、セミナーを開催し会員企業及び会員外企業に提供する。Web技術を用いて、会員に有用な情報の収集・整理を行う。なお、IEC/TC66（計測安全）へのメンバー派遣を行う等、この分野の取組を強化する。

(4) 国際

アジア関連団体（中国・韓国・台湾）との交流を継続し、展示会への相互参加等を企画する。今年度は、さらにベトナム・インド等との交流も計画する。またグローバルな展示会将来像の検討を、展示会委員会

と連携して進める。会員企業にとって関心ある、海外安全マニュアルの補強や海外に関するセミナーを行う。

(5) 輸出管理

法令改正のパブリックコメントに対する検討を行い、情報共有するとともに必要に応じてJEMIMAとしての意見を提出する。輸出関連法規などの周知と遵守の徹底を図るため、「安全保障貿易管理説明会(適格説明会)」を継続実施する等により、会員の輸出管理業務の適正化・効率化に寄与する。

(6) 知的財産権

特許庁審査・審判部門との意見交換会を企画し、会員企業の要望を伝えるとともに知的財産権に関する情報収集を行う。

(7) 資材

資材調達の情報としての活用を目的に、「部材市中価格調査推移一覧表」を会員各社に毎月提供する。また、安定調達に向けての情報共有、相互協力を図る。

(8) 環境グリーン

改正WEEE/RoHS指令への対応、REACH規則の情報収集、電池指令への対応など、世界の環境関連規制とその制定状況を継続調査し、JEMIMAとしての対応指針を明確にする。併せて関連機関にJEMIMAの意見を提案し、規制・規格の制定に反映させる。

(9) 校正事業推進

校正サービス事業の発展のために、(独)産業技術総合研究所及び(独)製品評価技術基盤機構の協力を得て、JCSS(計量法校正事業者登録制度)の諸問題の解決、制度の普及、需要の喚起を図るとともに、業界意見を行政へ提言する。

(10) 戦略的基盤技術検討

将来の工業会の基盤技術になりうる先端技術分野と研究開発テーマに関して、その分野の第一人者による講演会を企画し、調査検討を行う。

(11) 指示計器

電子式指示計器に関する交流トランスデューサ(JIS C 1111)の運用マニュアルの作成、及び安全規格の改正にともなう本規格への影響等を調査する。

(12) 電力量計

電子式電力量計JIS規格制定に取り組み、同規格の技術的背景等を文書化する。また、国際規格の動向把握を行う。

(13) 電子測定器

電子測定器産業の将来像を策定するために、JEMA、JEITA、計測器販売店会等他団体との連携を進め。また、電子測定器の新市場開拓のため、計測展2011 TOKYOでのスマートグリッドやパワー・エレクトロニクス分野における測定器の活用促進、学校販促等の共通テーマ等で、会員が連携したプロモーションを行う。

(14) PA・FA計測制御

PA・FA計測制御機器の市場拡大・業界発展のために主に下記分野での新技術・新市場の動向調査・対応を行う。

1) 機能安全調査研究

PA・FA計測制御分野においての適用がさらに拡大されつつある機能安全（IEC 61508, IEC 61511）の調査研究の深掘を進め会員企業、ユーザー、関連団体の発展に寄与する。

2) セキュリティ調査研究

製造業分野でのセキュリティに対する今後の影響、取組などを調査研究する。

3) 工業用無線技術

工業用無線技術の国際動向を周辺技術を含めて調査研究する。

(15) 温度計測器

温度計や温度計測に関する国内外の情報収集を行い、国際規格や国家規格を作成・維持する。今年度は特に測温抵抗体、温度測定方法通則、放射温度計に関して進める。

(16) 防爆計測

安全な製品供給のために、国内検定機関および海外認証機関、関係省庁と連携し、防爆に関する調査研究を進める。今年度は、国内粉じん防爆の規格改正に対応するための調査研究に注力する。

(17) 環境計測

環境計測技術用語の改訂作業と、昨年度行った中国での環境問題と環境計測ビジネスの現地調査に引き続き、インド、東南アジアの環境関連法規を調査する。

(18) 放射線計測

放射線測定技術、法令解釈等の情報共有を行うとともに、標準化（IEC/TC45, JIS）への取り組みを継続する。

(19) 広報

JEMIMAホームページ・会報・メルマガを有機的に活用し、効果的な広報活動を行うとともに、展示会実行委員会等の他委員会とも連携し、積極的な情報発信に努める。また、グローバル化のために英文ホームページの充実を図る。

(20) 展示会

JEMIMA会員企業の出展率向上、JEMIMAプレゼンス向上を目指し、グローバル化や計測制御をとりまく環境変化に対応した“計測展の中長期のあり方”の検討・提案を行う。

2. 標準化・規格制定事業

(1) 標準化

経済産業省からの委託により、ISO/TC30（管路における流量測定）、IEC/TC45（原子力計測）、IEC/TC65（工業用プロセス計測制御）の国際審議機関の日本国内事務局機能を果たす。今年度も国際標準化活動を支援し、日本からの規格提案をはじめ、IEC国際規格審議において日本の意見を規格に反映する努力を続ける。国際会議へのエキスパート派遣、国際会議の日本での開催等により日本のプレゼンス向上にも努める。

(2) 受託事業

経済産業省の「社会環境整備・産業競争力強化型規格開発事業」として、計測制御分野でのネットワーク標準化を進める。

(財)日本規格協会のJIS原案作成事業として、下記原案作成を行う。

- ・電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全
- ・計測・制御及び試験室使用の電気装置 電磁両立性要求
- ・産業用通信ネットワーク
- ・測温抵抗体
- ・X線、 γ 線、 β 線及び中性子用電子式個人線量計
- ・放射性ダストモニタ

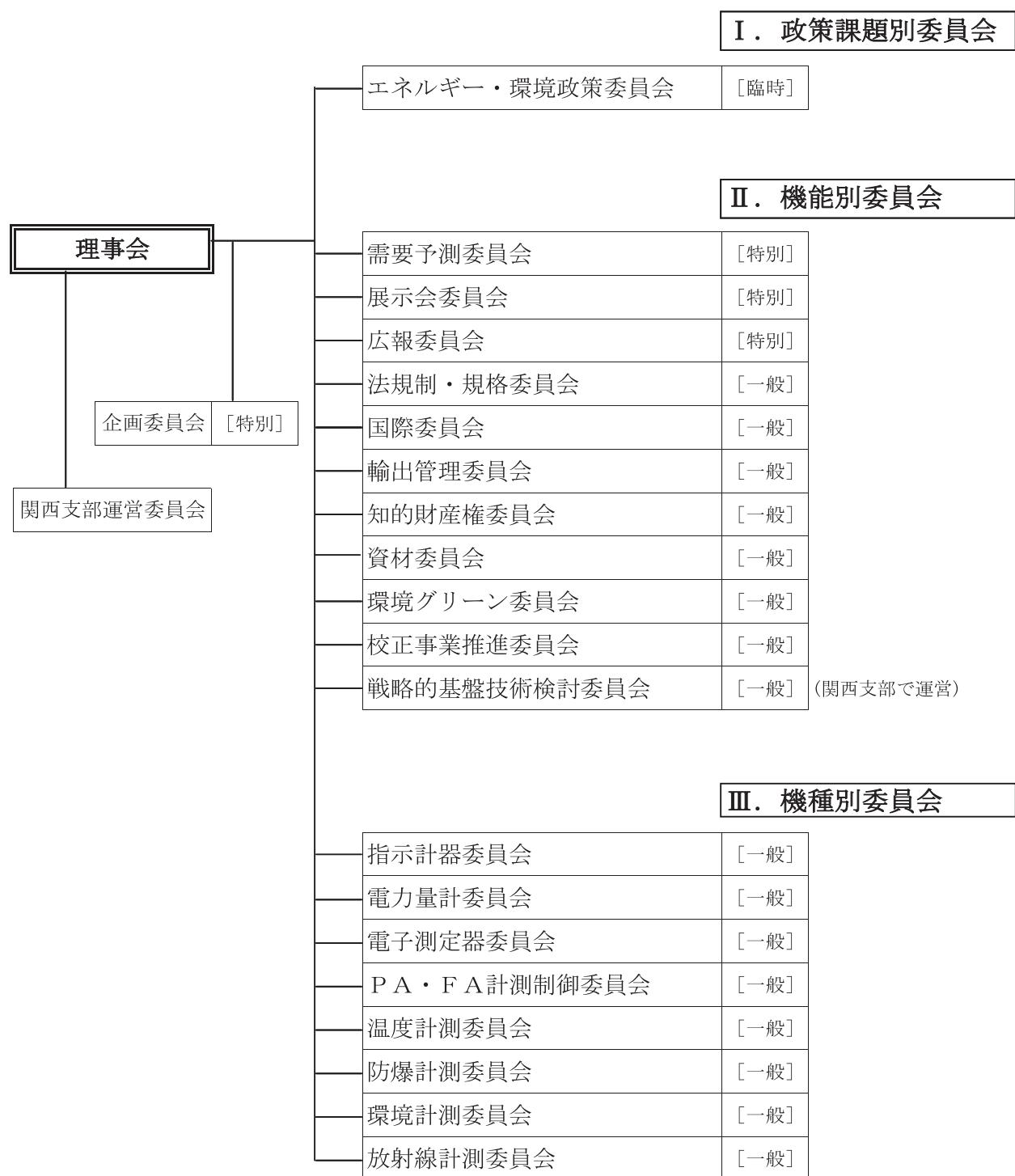
3. 展示会事業

計測展2011 TOKYO（2011年11月16日～18日 東京ビッグサイト有明・東京国際展示場）開催を成功に導く。

4. 関西支部活動

関西地区での、支部委員会活動を充実させ積極的な活動を行う。

社団法人日本電気計測器工業会 平成23年度委員会組織図



第51回（平成23年）関西支部定時総会報告

第51回（平成23年度）関西支部定時総会が、平成23年4月27日（水）17：00～17：30に、ホテルグランヴィア大阪で開催されました。総会の開会挨拶が堀場関西支部長からあり、現在当工業会で進めている重点施策である、公益法人制度改革への対応、今後の当工業会の3ヵ年計画、計測展2011 TOKYOの成功を中心とした内容が話され、また関西支部として、これらの重点施策を踏まえた活動を行うとともに、関西支部を中心として活動している、戦略的基盤技術検討委員会をさらに活発なものにしていく、BI会、2世会を強化していきたいとのことが話されました。

引き続き、定時総会審議に入り、以下の議題3項が承認されました。

1. 平成22年度関西支部事業報告及び決算報告について
2. 平成23年度関西支部事業計画案及び収支予算案について
3. 役員改選について

総会に引き続き、同会場で懇談会が開催されました。堀場関西支部長から懇談会開会挨拶があり、引き続きご来賓を代表して、経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 部長 国吉 浩 様から御挨拶を頂戴いたしました。乾杯挨拶が、竹下関西副支部長からあり、その後参加者約40名の会員相互の情報交換等も含め歓談の時間となりました。



堀場関西支部長



経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部
部長 国吉 浩 様



竹下関西副支部長

平成23年春の叙勲受章者

永年のご功績により、当工業会顧問の内田 勳様と、矢嶋 英敏様が春の叙勲において下記の通り受章されましたのでご報告いたします。



内田 勳 様

旭日中綬章



矢嶋 英敏 様

旭日重光章

横河電機（株）元 代表取締役社長
現 最高顧問

（株）島津製作所 元 代表取締役社長
現 相談役

当工業会会長
平成13年5月より2年間
平成19年5月より2年間
当工業会副会長
平成12年5月より1年間
平成15年5月より4年間
平成21年5月より2年間

当工業会副会長
平成15年5月より6年間

以上

新入会員

平成23年度4月度理事会におきまして、下記の会社の入会が承認されました。

[正会員]

社　　名：G E 富士電機メーター株式会社 (GE Fuji Meter Co.,Ltd.)

代表者名：代表取締役会長兼CEO 篠崎 美調

工業会に対する代表者名：営業部長 馬場 岳浩

本社所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 (ゲートシティ大崎イーストタワー)

電話番号：03-5435-6340 FAX 番号：03-5435-7529

ホームページアドレス：<http://www.gefujimeter.co.jp/>

主要取扱品目：電力量計



平成24年経済センサス - 活動調査を実施します。



- ・平成24年2月に全ての企業・事業所を対象とした経済センサス-活動調査を実施します。
- ・調査の結果は、各種行政施策や学術研究の基礎資料としての利活用だけでなく、経営の参考資料として事業者の方々にも活用していただくことを目指しています。
- ・正確な調査を実施するため、調査票の送付に先立ち、6月中旬から支社等を有する企業本社あてに「事業所等確認票」を郵送します。
- ・調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御返送をよろしくお願ひいたします。

総務省・経済産業省



欧洲環境規制レポート（第23回）

環境グリーン委員会
副委員長 中井章仁（ブラッセル駐在）

本原稿は6月後半に執筆しておりますが、ブラッセルでは日中30度を超える日が続き、空調も十分でない所が多くて“暑い暑い”と言う現地人を横目に、日本よりは格段良い状況であると思いながら業務・生活をしております。

さて、EUでは中長期目標として、Europe2020が掲げられ、2050年を念頭に2020年までの目標と優先分野が示されています。焦点は、気候変動、生物多様性、資源の効率的・持続的利用、都市環境、環境汚染の防止・削減、生活と健康の質向上、となっており、Resource Efficient Europe, Energy2020, Low Carbon Economy 2050 Roadmap, European Energy Efficiency Plan 2020, White paper on the future of transport, Roadmap for a resource-efficient Europe等の戦略文書が次々と発行されています。これらの戦略文書を概観しておりますと、随所に計測ニーズの可能性を感じる次第です。

1. RoHS指令改正

1.1 指令可決 官報（OJ）発行待ち

長かった改正指令の議論も終焉し、2011年5月28日付けで理事会承認されました。承認後のペーパーワーク（議会のPresidentとSecretary Generalのサイン）も2011年6月9日に実施され、あとは官報（Official Journal、通常2週間～4週間）を待つのみとなっています。おそらく本原稿を目にされる時には官報が発行されていることと思われます。

1.2 改正のポイント

- 1.2.1 カテゴリ8&9が対象になると共に、カテゴリ11としてその他の電気電子機器が追加され、全電気電子機器が対象になった（適用年が決定された）。
- 1.2.2 対象製品が増えるに伴い、適用除外製品が2件から10件に増えた。
- 1.2.3 3年以内に対象製品（その他の電気電子機器）と適用除外製品のレビューを実施。
- 1.2.4 3年以内に追加禁止物質（数種のフタレート他）の検討をすることを前文に明示。
- 1.2.5 カテゴリ8&9用の適用除外用途が追加された。（カテゴリ8&9に対しては、既存適用除外を含めて、最大7年の有効期間）
- 1.2.6 適用除外用途の有効期限や申請方法が規定された。
- 1.2.7 CEマーキング対象指令になった（New Legislative Frame Workに従う）。
- 1.2.8 WEEE指令とRoHS指令は個別に動くことが政治的合意された。

1.3 産業界（主に家電・計測器業界）で議論になっているポイント

リーガルテキストが可決された後に不明確な部分に対して、解説書（FAQ/Guidance）が環境総局イニシアティブで作成されることになっています。以下に、各産業団体から明確化を要望されている事例を説明します。本内容は最終的に2012年1月を目標として、環境総局から発行される予定です。（現在は産業界を中心に、

本内容に反映してもらうためのアクションが行われています。)

- 1.3.1 EEE（電気電子機器）とdependentの定義。EEEは、electrical currents or electromagnetic fields に dependent（依存する）と記載されているが、dependentの定義が、現行RoHS指令のFAQに記載されている for its primary function から at least one intended function という表現に変更されており、EEE定義範囲が拡大している。
- 1.3.2 Spare partの定義。The EEE cannot function as intended without that part of the EEE (EEEはその部品なしには意図した機能をしない) と記載されており、日本で使うスペアパーツとの用語や定義扱いに注意が必要である。
- 1.3.3 ケーブルは対象であるが、単独で販売する場合カテゴリは何になるのかという議論。あちこちで議論された結果、カテゴリ11（2019年から対象）に属するとの内々解釈が発生している。
- 1.3.4 Industrial monitoring and control instruments（2017年から対象）とmonitoring and control instruments（2014年から対象）の違いは？
- 1.3.5 Large-scale stationary industrial toolsとLarge-scale fixed installations のLarge-scaleとはどの程度の大きさは？ → 明確化を希望すると裁量範囲が狭くなる可能性があるので、明確化を希望しないという意見も多数あり。
- 1.3.6 適用除外製品のみに使用する部品・機器を満たすための条件詳細。
- 1.3.7 研究開発専用のBtoB製品（Equipment specifically designed solely for the purposes of research and development only made available on a business-to-business basis）を満たすための条件詳細。
- 1.3.8 適用除外用途の有効期限管理が煩雑化することに伴う見える化とリーガルテキスト上の不備防止。（適用除外用途を縦軸に、カテゴリや適用日を横軸に取った表を作成し、リーガルテキスト上に反映することで、適用除外用途とリーガルテキストの管理を分かり易くする。）
- 1.3.9 禁止物質を追加する場合に考慮して欲しいこと（グローバルなサプライチェーンの実態、信頼性評価に一定の期間が必要であること、適用除外用途の洗い出しには時間が掛かること、カテゴリ8 & 9のような製品ライフサイクルが長い製品があること等）。

1.4 CEマーキングと整合規格

RoHS改正指令では、New Legislative Framework (Regulation 765/2008/EC:認定・市場監視・CEマーキング一般原則を規定、Decision 768/2008/EC:製品を販売することに関する一般事項について規定) に順ずることが記載されています。New Legislative Framework は、旧New Approach Directive for CE marking に取って変わった枠組みであり、RoHS改正指令対象製品は、CEマーキング対応を行う必要があります。また、実際に製品対応する場合には、CEマーキング用整合規格を適用するケースが多く（実際は、メーカーがRoHS改正指令適合を担保できる根拠・仕様・遵守事項を明確にすれば、整合規格を用いなくてもいい）、その整合規格はCENELEC（欧洲電気標準化委員会）にて作成されます。RoHS指令の整合規格は、CENELEC TC111X WG5で検討されており、以降にその進捗と内容のポイントを説明します。

- 1.4.1 規格名称：Evaluation of electrical and electronic products with respect to the restriction of hazardous substances
- 1.4.2 メンバー：各国のNational standardization body (BSI, DIN etc)、日本のJISC
- 1.4.3 ベースとする規格： IEC TR62476 “Guidance for evaluation of products with respect to substance-use restrictions in EE products” *但し、内容は大きく変わっている
- 1.4.4 Normative reference (引用規格) : EN 62321:2009 “Electrotechnical products – Determination of levels of six regulated substances”
- 1.4.5 特徴：RoHS指令での製品担保をきっかけにWG設立したが、対象は全禁止物質。ENイニシアティブで発足し、IECに規格提案準備中。

1.4.6 規格の内容：

- * Technical Documentation (TD) への要求事項を規定
- * TDの内容：
 - (1) 製品仕様 (RoHSでのカテゴリ特定含む)
 - (2) 製品を構成している材料・部品・半製品のTDと製品との関係性を示す情報
 - (3) 材料・部品・半製品の情報
 - (4) 整合規格のリスト、TDを確立するために使用した技術仕様
- * 要求されるTDは、manufacturer's のアセスメントに拠る（義務ではない）
 - 例) 信頼のおけるサプライヤに対して不使用証明や契約書のみ
 - ハイリスク材料に対して分析結果や受入検査
 - ローリスク部品に対して不使用証明や契約書のみ
 - 仕様書の取り交わし（危険物質を含まないことを明記）
 - Material Declaration (EN62474, JIG-101 * IECデータベース化予定)
 - EN6231に基づく分析結果レポート

2. WEEE指令改正案

RoHS指令改正と平行して改正審議されてきたWEEE指令ですが、2011年3月14日に開催された理事会にて承認されず、第2読会に突入しています。今後は、夏休みまでにシャドーラポータが内々調整を行い、理事会と非公式合意をしたテキストで2011年9月か10月の議会環境委員会での採択を目指すことが検討されています。その後、議会本会議および理事会大臣会合での承認が必要となるため、順調に進んだとしても2012年3月以降しか正式採択されないことになります。議論の中心ポイントを下記に説明します。

2.1 対象製品のカテゴリ分けと適用時期、適用除外製品

6年以内に、カテゴリを10種類からオープンスコープベースの5種類（温度調整機器、ランプ、スクリーンとモニタ、大きな電気機器、小さな電気機器）に減らすことが理事会より提案されたが、3年以内にレビューを実施する規定や適用除外製品のRoHS改正指令とのアンマッチを含め、合意を得られていない状態

2.2 収集率目標

数種の提案がされているが、計算・管理方法や実現可能性の面で意見が分かれている

2.3 回収・再利用・リサイクリング目標

3年間は現状維持、3年以降から5%ずつ増加される案が濃厚

2.4 生産者(Producer)の責任範囲と定義

各国で定義を決めたいという意見

2.5 違法輸出

最低限の監視・モニタリングの要望

2.6 ファイナンシャル上の課題（廃棄時に掛かる費用は誰が負担するのか？その管理は？）

3. その他環境関連規制の注目ポイント

3.1 REACH規則関連

0.1%分母解釈の議論、Restriction（フタレート関係）、REACH review 2013、執行監視Enforcement Tier 2, 3、RIP-oN（ナノマテリアル）、SVHC追加（8物質と今後）

3.2 ナノマテリアル関連

昨年11月のナノ定義コンサルテーションのリアクション → 省間調整が実施され、Recommendation案が内々に回付されている。秋頃に発行か？

3.3 エコデザイン関連

Working Plan 2012-2014, Environmental Footprint

2011年7月

「計測展2011 TOKYO」企画概要のご紹介

計測展2011 TOKYO実行委員会

本年11月に、東京ビックサイトにて、「計測展2011 TOKYO」を開催いたします。現在、新たな企画の検討を進めており、開催概要・規模・出展企業なども含め、概要をご紹介いたします。

最新情報はこちら：<http://www.jemima.or.jp>

I. 開催概要

1. 名 称：[和文] 「計測展2011 TOKYO」
[英文] 「Measurement and Control Show 2011 TOKYO」
2. テーマ：計測と制御で創る未来の地球
～復興、そしてその先へ～
3. 会期：2011年11月16日(水)～11月18日(金) 3日間
4. 会場：東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場）東4ホール
5. 主催：(社)日本電気計測器工業会
6. 共催：日経BP社
7. 後援：文部科学省、経済産業省、環境省 [以上、申請予定]
8. 協賛：独立行政法人 産業技術総合研究所、独立行政法人 製品評価技術基盤機構、
日本電気計器検定所、一般財団法人 日本品質保証機構、日本貿易振興機構（ジェトロ）、
公益社団法人 計測自動制御学会、一般社団法人 日本機械学会、
社団法人 日本計量機器工業連合会、一般社団法人 日本電機工業会、
社団法人 日本電気制御機器工業会、社団法人 日本分析機器工業会 [以上、申請予定]
9. 入場料：1,000円(消費税込み)
但し、Webサイトによる事前登録者及び招待券持参者は無料

II. 開催規模

1. 出展規模：77社 3委員会（機関・委員会）・274小間（7/11現在）+企画展示コーナー

企画名	社数	小間数
1. 製品出展	63	251
①正会員	(31)	(212)
②賛助会員	(5)	(10)
③会員外（国内企業）	(25)	(27)
④会員外（海外企業・団体）	(2)	(2)
2. トライアルブース	5	5
3. 独立法人・関連機関	6	9
4. 書籍販売コーナー	3	4
5. JEMIMAコーナー	3	5
6. 企画展示コーナー	(募集中)	(募集中)
合計	77社 3委員会	274

2. 参加国・地域数：3カ国（台湾、米国、日本）

III. 新企画

「安全・安心」、「エネルギー・マネジメント」、「デジタル・インテグレーション」を提供するJEMIMAの製品、技術により、3月11日の震災からの復興に貢献したいという思いを込め、メインテーマを「計測と制御でつくる未来の地球」、サブテーマを「～復興、そしてその先へ～」とした。復興に貢献するJEMIMAの技術や姿勢を積極的に発信する次の2企画を進めている。

(1) テーマ展示コーナー

日本の復興を支援する計測・制御技術、その応用事例を会員企業の最新トピックスと委員会活動の成果を織り交ぜて紹介する。

主な内容：

- ① さまざまな形で進行する環境汚染の実態を「見える化」する技術・応用例
- ② 震災で重要性が見直されたプラント・工場の操業継続を支える技術・応用例
- ③ 自然エネルギー等、新たなエネルギー開発の現場を支える技術・応用例
- ④ 省エネルギー、節電対策を推進する技術・応用例
- ⑤ スマートグリッドを支える技術・応用例
- ⑥ ワイヤレス技術をはじめとするデジタルファクトリの新たなアーキテクチャ

上記を国の方針解説から始まり、企業が提供する製品・ソリューション、大学での研究成果等、産官学が一体となって復興を支援するアイディアや実例を紹介し、我々が次にできることを皆で議論する展示コーナーを創っていく。

(2) カンファレンス

復興支援に貢献する計測・制御技術のこれから役割を各分野の専門家による基調講演や専門カンファレンスで幅広く提言するほか、産官学のオピニオンリーダーを招き、計測展2010 OSAKAで好評を博したラウンドテーブルセッションを「次なるエネルギー技術と未来社会」をテーマに開催する。また、新たにトークショーも企画している。

カンファレンスの構成：

- ① テクニカルセミナー 10社・24テーマ
- ② JEMIMA委員会セミナー 4委員会・4テーマ
- ③ 基調講演・特別講演 3テーマ
- ④ ラウンドテーブルセッション 1テーマ
- ⑤ トークショー 1テーマ
- ⑥ 専門カンファレンス 4テーマ・8セッション

V. 同時期開催展との共同企画

同時期開催の3展示会とは、展示会の相互案内、共通入場等を企画。

(1) 同時期開催の関連展示会

- ① システム コントロール フェア2011
- ② INCHEM TOKYO 2011
- ③ ものづくりNEXT↑2011

(2) 同時期開催展との共同企画

- ① 案内状・メールマガジン・Webページによる相互広報活動
- ② 会期中の共通入場の実施

会期中、いずれかの展示会の招待券(又は来場者証)を持参の場合、相互に無料入場可能。

(3) 公益社団法人計測自動制御学会 (SICE) 50周年記念事業と相互協力

SICE会長による基調講演、国際標準化セミナー共催（予定）

以上

計測展2011 TOKYO：出展企業・団体一覧

No.	企業・団体名	出展規模		
		展示小間	テクニカルセミナー	委員会セミナー
	[正会員]			
1	アンリツ株式会社	6		
2	岩通計測株式会社	4		1
3	ABB 株式会社	9		
4	ABB 日本ペーレー株式会社			
5	N E C Avio 赤外線テクノロジー株式会社	1		
6	株式会社 エヌエフ回路設計ブロック	3		
7	エンドレスハウザージャパン株式会社	3		
8	株式会社 岡崎製作所	2		
9	菊水電子工業株式会社	2		
10	京西テクノス株式会社	3		
11	島津システムソリューションズ株式会社	12		2
12	新光電機株式会社	1		
13	株式会社ソニック	2		
14	タケモトデンキ株式会社	2		
15	株式会社 チノー	6		
16	東亜ディーケーケー株式会社	4		
17	株式会社 東芝	15		3
18	日本エマソン株式会社	32		2
19	日置電機株式会社	2		1
20	株式会社 日立ハイテクトレーディング	9		
21	富士電機株式会社	12		
22	株式会社 堀場製作所	12		
23	株式会社 堀場エステック			
24	株式会社 堀場アドバンスドテクノ(共同開催)			
25	株式会社 ホリバアイテック(共同開催)			
26	株式会社 山武	40		3
27	山里産業株式会社	1		
28	横河電機株式会社	24		6
29	横河電メータ＆インスツルメント株式会社	3		1
30	リオン株式会社	1		
31	理研計器株式会社	1		
[小計：国内（31社）]		212		23
 [賛助会員]				
1	京都E I C株式会社	2		
2	株式会社 コスマス・コーポレイション	1		
3	スペクトリス株式会社	1		
4	株式会社 ピーアンドエフ	2		1
5	ミッセルジャパン株式会社	4		
[小計：国内（5社）]		10		1

No.	企業・団体名	出展規模		
		展示小間	テクニカルセミナー	委員会セミナー
	[一般]			
1	アルファ・エレクトロニクス株式会社	2		
2	インターリハ株式会社	1		
3	株式会社 HP テクノス	1		
4	日機装株式会社			
5	N E C パーチェシングサービス株式会社	1		
6	株式会社 エミック	2		
7	株式会社 大手技研	1		
8	大倉電気株式会社	2		
9	株式会社 九州共販	1		
10	株式会社 コスモサウンド	1		
11	株式会社 サーモニーズ	1		
12	株式会社 センサスヤマモト	1		
13	ソフティング	1		
14	ガイロジック株式会社			
15	株式会社 田中電気研究所	1		
16	東光計器株式会社	2		
17	株式会社 ナックイメージテクノロジー	1		
18	株式会社 日本ファインケム	1		
19	ヒーマ日本支社	2		
20	株式会社 平井	1		
21	フルーグ	1		
22	株式会社 豊光社	1		
23	大陽工業株式会社			
24	株式会社 ユー・アール・ディー	1		
25	株式会社 ライトストーン	1		
[小計：国内（25社）]		27		

No.	企業・団体名	出展規模		
		展示小間	テクニカルセミナー	委員会セミナー
	[一般 海外]			
1	台灣区電機電子工業同業公会	1		
2	HART Communication Foundation	1		
	[小計：海外（2社）]	2		
	[トライアルブース]			
1	有限会社 エスシーエス	1		
2	株式会社 N S D	1		
3	京都リサーチパーク株式会社	1		
4	株式会社 藤田電機製作所	1		
5	菱栄テクニカ株式会社	1		
	[小計：国内（5社）]	5		
	[独立法人・大学・関連機関]			
1	公益社団法人 計測自動制御学会	1		
2	独立法人 雇用・能力開発機構 高度職業能力開発促進センター	1		
3	独立行政法人 産業技術総合研究所	2		
4	独立法人 製品評価技術基盤機構 認定センター	2		
5	日本電気計器検定所	2		
6	一般財団法人 日本品質保証機構	1		
	[小計：国内（6社）]	9		
	[書籍販売コーナー]			
1	株式会社 電波新聞	1		
2	日経 BP 社	2		
3	日本工業新聞出版株式会社	1		
	[小計：国内（3社）]	4		
	[JEMIMA コーナー]			
1	社団法人 日本電気計測器工業会			
2	校正事業推進委員会		2	1
3	環境グリーン委員会			
4	電子測定器委員会			
5	PA・FA 計測制御委員会			
6	放射線委員会		2	
7	法規制・規格委員会		1	
	[小計：国内（委員会）]		5	4
	計 77社 / 3委員会)	269	5	24(10社) 4

「平成22年度 委員会活動成果報告会」開催報告

平成22年度委員会活動成果報告会（企画委員会主催）が平成23年6月10日（金）13：30～17：50に、（財）機械産業記念事業財団（TEPIA）ホールで開催されました。本報告会の目的は、JEMIMA各委員会が活動成果内容を会員企業および他委員会の委員に報告することで、JEMIMA活動の可視化・共有化を図ると共に委員会活動の更なる活性化に繋げ、結果として会員企業に利益をもたらしていくことです。

第6回目となる今回は、会長、副会長を始めとして理事、会員代表者、連絡員、委員会関係者および来賓として経済産業省の方を含め多数の方々に出席頂き、98名の出席となりました。

また、報告会終了後に開催された懇親会にも、多数の方々に出席を頂き盛況のうちに委員会活動成果報告会を終了いたしました。

1. 委員会活動成果報告会

吉原専務理事の開会挨拶に引き続き、堀場会長から新会長としての重点施策に関する説明を中心とした挨拶があり、続いて来賓を代表して経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐 末永 敏様からご挨拶をいただきました。報告会では15の委員会より平成22年度の活動成果報告および課題、平成23年度活動計画などの報告があり、委員会相互の活動状況、課題、成果についての情報共有が促進されました。



堀場会長



経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課
課長補佐 末永 敏 様



吉原専務理事



報告会会場の様子

2. 懇親会

懇親会は、小野木副会長の挨拶で始まり、戸田副会長の中締めまで、和やかでかつ盛大な会となりました。



小野木副会長



戸田副会長

なお、堀場会長からの総評は委員長連絡会議の中で共有化を図り、本年度の各委員会の活動に反映させていきます。

委員会開催録

開催場所の記載がない会議は計測会館にて開催しました

《企画委員会》

開催日 4月12日

議事

1. 書面による3月度定例理事会結果報告
2. 4月度定例理事会次第確認
3. 次期3ヵ年事業計画について審議
4. 平成22年度委員会事業報告
5. 平成23年度企画委員会の事業計画と年間スケジュールの確認
6. 次回の委員長連絡会議
7. 6月10日の成果報告会

開催日 5月10日

議事

1. 本日の委員長連絡会議次第・配布資料確認と進め方
2. 企画委員会の成果報告会発表資料
3. 成果報告会関係資料

開催日 6月10日

場所 (財)機械産業記念事業財団 (TEPIA)

議事

1. 企画委員会の今後の運営について
2. 本日の委員会活動成果報告会の準備

政策課題別委員会

《エネルギー・環境政策委員会》

本委員会

開催 4月22日

議事 平成22年度報告と平成23年度事業計画

①エネルギー計測・制御WG

開催日 4月11日、5月11日

議事

1. IEC/TC65/JWG14 テクニカルレポート審議
2. 業界横断国際標準化対応審議

②エネルギー規制対応WG

開催日 4月22日、5月18日、6月15日

議事

1. 電力規制の動向調査
2. ISO 50001の解説

③スマートグリッドWG

開催日 4月22日、6月15日

議事

1. IEC SG 3 国内対応委員会報告
2. スマートコミュニティアライアンス第3回蓄電池SWG報告
3. ベストプラクティス集配布報告

機能別委員会

《需要予測委員会》

開催日 4月13日

議事

1. 委員自己紹介 (新メンバ)
2. 平成22年度 事業報告について
3. 平成23年度 活動方針について
4. 平成23年度 年間スケジュールの確認
5. 統計品目表の改定作業について

開催日 5月11日

議事

1. 委員・WG主査自己紹介
2. 2011年度 (H23) 活動方針について
3. 各WGへの本年度活動事項の依頼
4. 年間スケジュール確認
5. その他 成果発表会

開催日 6月8日

議事

1. 委員会活動成果報告会
2. 2010年度実績報告
3. 各WG進捗報告

《広報委員会》

開催日 5月10日

議事

1. 平成23年度正副委員長の選出
2. 報告事項
 - (1) 広報委員会担当事務局の一部変更
 3. 平成23年度スケジュールについて
 4. 協賛名義使用承認の認証について
 5. 平成22年度委員会成果報告会について

開催日 5月26日

議事

1. 報告事項
 - (1) WEBアクセス分析報告
 - (2) 講演会聴講者アンケート調査結果
2. 審議事項

- (1) 2011年度事業の四半期毎の計画について
- (2) 後援・協賛名義使用審議について
- 3. 委員長連絡会議報告
- 4. 委員会活動成果発表会

開催日 6月23日

議事

- 1. 報告事項
 - (1) WEBアクセス分析報告
 - (2) 委員会活動成果報告会
 - (3) WG進捗状況
- 2. 審議事項
 - (1) JEMIMA案内
 - (2) 協賛名義使用について

《法規制・規格委員会》

開催日 4月19日

議事

- 1. 中井委員長からの欧州情報共有
- 2. 韓国KCマークに関する情報交換
- 3. TC66国際会議（6/13からイギリスのドーバーにて開催）への参加検討
- 4. 第1回セミナー（アジア各国の安全とEMC）の詳細検討
- 5. 情報交換会
製品による人体への電磁波曝露(EN 62311:2006)試験、LANコネクタ付き計測器と電気通信事業法、CISPR 11:2009/A1:2010の変更点、EN61326-1イミュニティ試験値レベル

開催日 5月17日

議事

- 1. 経済産業省より韓国KCマークに関する情報展開
- 2. 中井委員長からの欧州情報共有
- 3. 第1回セミナー（アジア各国の安全とEMC）の講演資料確認
- 4. 委員会活動成果報告会の発表資料レビュー
- 5. 情報交換会
製品の耐震性評価、多チャンネル入力ユニットのチャンネル配列、IEC 61010-2-030 テストレポートフォーム、過渡過電圧制限デバイス用の回路又は部品

開催日 6月3日

議事

- 1. 経済産業省より韓国KCマークと輸出品の放

- 射線量検査に関する情報展開
- 2. 第1回セミナー（アジア各国の安全とEMC）の最終確認
- 3. CEマーキングについてのセミナー資料レビュー
- 4. IEC 61010-1のJIS化対応、TRの取り扱い及び他団体との連携検討
- 5. 情報交換会
EN 61010-1 : Ed.3 10.2「巻線の温度上昇」、韓国KCマークの表示、スイッチング電源の一次-二次間の空間距離、質量警告ラベル

《輸出管理委員会》

開催日 4月6日

議事

- 1. 平成22年度第10回委員会議事録確認
- 2. CISTEC派遣の件
- 3. 平成23年度分科会の体制と計画（技術、制度、通関手続、STC Associate・Expert 勉強会）
- 4. 平成23年度計画策定
- 5. 平成22年度決算／平成23年度予算報告
- 6. 平成22年度事業活動報告書（理事会報告）
- 7. 見学会候補の募集

開催日 5月16日

議事

- 1. 平成23年度 第1回委員会議事録確認
- 2. 委員長連絡会から報告
- 3. パブコメ報告
- 4. 分科会報告（教本作成WG、通関手続、輸出管理勉強会）
- 5. CISTEC報告
- 6. その他、情報交換

開催日 6月1日

議事

- 1. 平成23年度 第2回委員会議事録確認
- 2. 委員会活動成果報告会
- 3. 法改正について
- 4. 分科会報告（教本作成WG、通関手続、輸出管理勉強会）
- 5. CISTEC報告
- 6. 実地見学会について
- 7. その他、情報交換

《知的財産権委員会》

開催日 5月20日

議事

1. 事業報告及び決算報告
2. 事業計画及び予算確認
3. 委員会開催計画策定
4. 本年度テーマに関する情報交換

《資材委員会》

開催日 4月21日

議事

1. 平成23年度事業計画について
2. 平成22年度活動報告
3. 各事業の分担決定
4. CD事例発表の分担決定

開催日 6月16日

議事

1. 平成23年度第一回委員長連絡会議報告
2. 平成22年度委員会活動成果報告会報告
3. CD事例発表

《環境グリーン委員会》

開催日 4月12日

議事

1. 経済産業省からWTO/TBT委員会、放射能風評被害、節電などの情報
2. 欧州最新情報展開
3. 環境セミナー（3/10）の実施結果報告
4. 2010年度訪欧（2/21～25）結果報告
5. 関連工業会連絡会：本年度の幹事団体がNECAに決定、RoHS Adhoc活動報告
6. 2011年度の組織、体制、WG構成、業務委託、イベントの決定

開催日 5月11日

議事

1. 欧州最新情報：改正RoHS指令のスケジュール、JBCE提案について
2. 環境セミナー（7/4）の計画状況報告
3. 計測展での委員会セミナー検討開始
4. 関連工業会連絡会：日本検査機器工業会の新規加入、RoHS Adhoc活動報告
5. 委員長連絡会議からの情報展開

開催日 6月2日

議事

1. 経済産業省からSuper RoHS、米国リチウム電池輸送、韓国KCマークなどの情報
2. 欧州最新情報：改正RoHS指令の理事会承認
3. 「欧州改正RoHS指令公布のお知らせ」案文検討
4. 環境セミナー（7/4）のプログラム決定、募集開始
5. 環境関連報告：電子部品に含まれるPCBの情報

《校正事業推進委員会》

開催日 4月22日

議事

1. 委員の交代
2. 副委員長の選出
3. 報告事項
 - (1) JCSS協力WG
 - (2) NITE技術委員会・分科会主査連絡会
 - (3) 計測標準フォーラム・啓蒙普及WG
4. 計測展2011TOKYO
 - (1) 委員会セミナー
 - (2) スタンプラリー
5. 平成23年度スケジュールの確認
6. 東日本大地震の影響による産総研の標準供給の復旧状況
7. 東日本大地震の影響により産総研からの供給が停止している特定二次標準器の校正周期の期限について

機種別委員会

《指示計器委員会》

開催日 4月14日

議事

1. JIS C 1102-1追補の公示日は4月20日である
2. JIS維持審査について：工場審査は省略だが、製品試験は前回と同じになっている。JQAにて確認
3. トランステューサの運用マニュアルについて：4.4～6.1.1までと参考表、他

開催日 5月12日

議事

1. JIS定期的維持審査における試験項目省略に関して、JQAに対して確認を行った。

2. トランスデューサ運用マニュアル：6.1.1～6.8.4までを加筆修正
3. JIS C 1010-1改正の分科会への出席：指示計器委員会（代表者で登録）として参加予定

開催日 6月9日

議事

1. 電子式指示計器の規格化について：指示計器規格に対応した、個別規格（電圧計、電力計等）にする
2. JIS C 1010-1改正の分科会への対応について：指示計器委員会に特に関連する項目については、分科会に参加予定
3. トランスデューサ運用マニュアル：6.9～6.19まで実施

《電力量計委員会》

開催日 4月6日

議事

1. 電気計器技術課題等研究会他 経過報告
2. スマートメーター制度研究会最終報告

開催日 5月12日

議事

1. 電気計器技術課題等研究会他 経過報告
2. 電子式電力量計JIS規格詳細解説作成

開催日 6月2日

議事

1. 電気計器技術課題等研究会他 経過報告
2. 電法27条の発令に関する決定事項報告
3. 計器工業協議会連絡会

《電子測定器委員会》

開催日 4月12日

議事

1. 電力需給逼迫に関する対応紹介
2. スマートコミュニティアライアンス 第1、2回蓄電池SWG報告
3. ベストプラクティス集審議

開催日 6月15日

議事（スマートグリッドWG合同）

1. IEC SG3国内対応委員会報告
2. スマートコミュニティアライアンス 第3回蓄電池SWG報告
3. ベストプラクティス集配布報告

《PA・FA計測制御委員会》

開催日 4月27日

議事

1. 平成23年度年間スケジュールの確認
2. 平成22年度委員会成果報告会発表準備
3. 平成22年度成果報告編集の件
4. 6月の日帰り見学会計画検討
5. 計装「PA・FAクオータリ」8月号のテーマ検討
6. IEC/TC65国内委員会 諮問委員会への委員派遣の件

開催日 5月25日

議事

1. 平成22年度委員会成果報告会発表資料最終版
2. 平成22年度成果報告編集タスクチーム検討
3. 計装「PA・FAクオータリ」8月号のテーマ候補
4. 7月の講演会テーマ検討
5. IEC/TC65プレナリ ソウル会議トピックス

開催日 6月22日

議事

1. 計装「PA・FAクオータリ」8月号原稿最終確認
2. 平成22年度成果報告編集用資料
3. 7月の講演会テーマ確定
4. 計測展2011TOKYO発表委員会確定

《温度計測委員会》

開催日 4月13日

議事

1. 委員の交代
2. 報告事項
 - (1) 「新編 温度計測100のFAQ」アンケート調査結果
 - (2) 年間スケジュール
 - (3) JIS C1610改正の進捗状況
3. JIS C 1604 見直し作業

開催日 5月11日

議事

1. 報告事項
 - (1) 委員長連絡会議
 - (2) 委員会成果報告会資料
2. JIS C 1604見直し作業

開催日 6月2日
場所 京都私学会館
議事

1. 委員の交代
2. JIS C 1604見直し作業

《防爆計測委員会》

開催日 5月13日
議事

1. 報告事項
 - (1) 東京電力・常陸那珂火力発電所見学会
 - (2) IEC Exシステム国内審議委員会
 - (3) IEC /TC31小委員会
2. 粉じん防爆調査WG
3. ガイド改正分科会検討依頼事項について
4. 技術基準2008版の電池の取扱について

開催日 6月16日
場所 きゅりあん
議事

1. 報告事項
 - (1) 委員会活動成果報告会
 - (2) IEC Ex Publicationについて
 - (3) 乾電池の評価について

《環境計測委員会》

開催日 4月15日
議事

1. 産環協殿より排ガスアンモニア計ISO規格作成の協力依頼について
2. 環境計測JISモニタリング：JISの改正・作成のサポートを行う
3. JIS原案作成、2件（ダスト濃度計、HCl自動計測器）について

開催日 5月20日
議事

1. 環境計測用語WG：各人の担当部分の再確認・問題点の討議及びまとめ実施
2. JIS原案作成、HCl自動計測器、ダスト濃度計に関する準備打ち合わせに関する報告
3. 計測展：環境計測委員会としてパネル展示をする予定

開催日 6月17日
議事

1. 環境計測用語WG：トレーサビリティの体系

- 図について産総研殿にて相談
2. JIS原案作成、HCl自動計測器、ダスト濃度計に関する委員依頼に関する報告
 3. 計測展：環境計測委員会としては、パネルと成果物を展示できるか検討する

《放射線計測委員会》

開催日 4月20日
議事

1. 長納期部品の問題、業界として放射線測定に関して発表出来ること、国への提言案
2. 放射線計測JISについて：ダストモニタ、個人線量計のJIS原案作成委員会は福島事故対応などで1ヶ月延期
3. 放射線測定器をJEMIMAで購入し、貸し出し等が出来るよう検討する

開催日 5月13日
議事

1. 工業製品を輸出する際の表面汚染の測定方法についてガイドライン検討
2. 計測展：「安心・安全」というテーマで、放射線計測委員会合同としての出展を予定している

開催日 6月3日
議事

1. 国産の線量計が足りないため輸入品が出回っているが、何らかの規制を行なうべきではないかという一部の意見があり打合せを行った
2. 7月8日（金）、9日（土）に環境計測委員会と合同で施設見学会（スプリング8）及び7月度委員会を予定
3. 計測展：放射線測定の原理、各社製品の紹介展示の他に、工業製品の放射能汚染測定、空間線量測定、個人線量計等の正しい使用方法などを説明するパネル展示を行うとともに、デモ等を検討する

刊行物案内

最新情報と購入申込はホームページの「刊行物」をご覧ください

工業会規格 (JEMIS)

番号	規格名称	一般価格	会員価格
・JEMIS 001～009-1982	パネル用計器の正面塗装色 など(002～004廃止)	1,050円	1,050円
・JEMIS 010-1977	接触燃焼式可燃性ガス漏えい検知警報器	157円	157円
・JEMIS 011-1977	半導体式可燃性ガス漏えい検知警報器	157円	157円
・JEMIS 012-1977	電気化学式毒性ガス漏えい検知警報器	157円	157円
・JEMIS 013-1977	半導体式毒性ガス漏えい検知警報器	157円	157円
・JEMIS 014-1977	電気化学式酸素漏えい検知警報器	157円	157円
・JEMIS 016-1992	可聴周波発振器試験方法	1,260円	1,050円
・JEMIS 017-2007	電気標準室の環境条件	1,050円	840円
・JEMIS 018-1979	メータリレー	1,050円	1,050円
・JEMIS 019-1980	AC-DCトランスデューサ	840円	840円
・JEMIS 020-1981	クランプ電流計	525円	525円
・JEMIS 021-2000	環境計測技術用語	3,150円	2,625円
・JEMIS 022-1983	工業計器性能表示法通則	4,200円	3,150円
・JEMIS 024-1984	工業計器一般仕様書記載項目	3,675円	2,625円
・JEMIS 026-1992	工業計器性能用語	4,725円	3,675円
・JEMIS 027-1985	工業プロセス用圧力・差圧伝送器の試験方法	2,625円	2,100円
・JEMIS 028-1998	渦流量計による流量測定方法	3,150円	2,100円
・JEMIS 030-1986	原子力発電所プロセス計測機器の試験指針	2,625円	2,100円
・JEMIS 032-1987	超音波流量計による流量測定方法	3,675円	3,150円
・JEMIS 033-1997	マイクロコンピュータ応用計測制御機器設置環境ガイドライン	4,200円	3,150円
・JEMIS 034-2001	熱電対及び測温抵抗体による温度測定方法	3,150円	2,100円
・JEMIS 035-1990	プロセス分析計性能表示法通則	3,150円	2,625円
・JEMIS 036-1994	計測制御機器イミュニティ試験法	4,200円	3,150円
・JEMIS 036-1996	サーボイミュニティ試験法(Amendment-1)	1,575円	1,050円
・JEMIS 037-6-1997	工業プロセス計測制御機器伝導性無線周波妨害イミュニティ試験法	3,150円	2,100円
・JEMIS 037-8-1998	工業プロセス計測制御機器商用周波数磁界イミュニティ試験法	3,150円	2,100円
・JEMIS 037-11-1999	工業プロセス計測制御機器電圧ディップ、瞬時停電および電圧変動イミュニティ試験法	2,100円	1,575円
・JEMIS 038-2006	JEMIMAフィールドバス	3,150円	2,100円
・JEMIS 039-2002	工業プロセス計測制御機器の電磁波妨害特性許容値および測定	3,150円	2,100円
・JEMIS 040-3-2002	定格電流16A以下の工業プロセス計測制御機器に使用される低電圧電源システムの 電圧変動とフリッカの許容値	2,100円	1,575円
・JEMIS 041-2002	電磁式水道メーターの面間寸法	1,260円	1,050円
・JEMIS 042-2003	電磁流量計の長期安定性(平成15年3月制定)	1,260円	1,050円

報告書類

報 告 書 名	一般価格	会員価格
・「電気計測器の中期予測 2010~2014年度」(平成22年12月)	8,400円	3,150円
・セミナー「環境シリーズ(第11回)」の配布資料	2,000円	1,000円
・安全計装の理解のために「JIS C 0511 機能安全—プロセス産業分野の安全計装システム」の解説	2,000円	1,000円
・「ハンドキャリー手続きマニュアル」第6版 (平成21年7月)	1,100円	600円
・「明快!!安全保障輸出管理教本…入門から実務まで」第2刷 (平成19年1月)	2,000円	1,000円
・「安全保障貿易管理 該非判定ガイドブック 2009」(平成21年3月)	1,500円	800円
・「環境計測器ガイドブック(第6版)」(平成18年10月)	4,200円	4,200円
・「発明発掘の手法に関する事例集」(平成18年4月)	6,000円	4,000円
・計測および制御システム構築契約ガイドライン(JEMIMA-01-01-2003)(平成15年12月)	5,000円	3,000円
・申請者のための防爆申請ガイド=耐圧防爆構造=	4,200円	2,625円
・申請者のための防爆申請ガイド=本質安全防爆編 FISCO Model= (平成17年3月発行)	4,200円	2,625円
・申請者のための防爆申請ガイド=本質安全防爆編=	4,200円	2,625円
・制御監視システムの構築ガイドライン ー企画から契約への進め方-(JEMIMA-01-01-2001)	3,150円	2,100円
・JIS C1010-1の指示計器およびAC-DCトランスデューサへの運用マニュアル	4,200円	2,100円

(金額：百万円、前年比：前年同期比増減率%)

下記の数値は修正される場合があります。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください。

電気計測器

電力量計

生産													
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
2010(H22)晩年	419,379	38.2	44,170	19.4	4,804	10.8	3,435,851	39,366	20.5	209,082	82.1	501,034	9,084
2010(H22)年度	431,502	32.6	44,640	11.7	4,920	11.4	3,425,932	39,720	11.7	220,016	63.4	530,099	10,035
2010/04～06	92,971	59.0	11,113	31.2	1,091	16.3	860,789	10,022	33.1	49,980	147.9	129,906	2,156
2010/07～09	121,220	41.4	10,614	12.3	1,118	9.9	796,548	9,496	12.6	64,072	77.1	115,734	2,112
2010/10～12	97,937	32.4	11,107	3.7	1,351	10.9	834,517	9,756	2.7	46,381	54.4	126,591	2,088
2011/01～03	119,374	11.3	11,806	4.1	1,360	9.3	934,078	10,446	3.5	60,183	23.7	157,888	3,679
2011/02	36,306	20.0	3,864	4.1	457	8.0	302,289	3,407	3.6	19,496	37.1	54,966	1,180
2011/03	51,780	2.3	4,164	3.5	468	12.2	336,593	3,696	2.5	25,152	8.9	57,539	1,475
2011/04	31,607	16.5	3,746	-2.1	435	20.2	319,305	3,311	-4.4	17,732	27.4	56,067	936
2011/01～2011/04	150,981	12.4	15,552	2.6	1,795	11.8	1,253,383	13,757	1.5	77,915	24.5	213,935	4,615
2011/04～2011/04	31,607	16.5	3,746	-2.1	435	20.2	319,305	3,311	-4.4	17,732	27.4	56,067	936
2011/04～2011/04	197	2.110	—	299	31.1	10,817	43,490	2.573	7.3	18,693	22.3	45,599	4.2



生産													
	数量	金額	数量	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
2010(H22)晩年	10,022	4,486	16,434	-9.2	19,813	18,585	95.2	115,067	170.1	793	52,806	175.3	
2010(H22)年度	11,512	4,520	16,985	-4.3	13,641	55.9	121,603	108.0	856	60,226	164.6	290	15,533
2010/04～06	2,196	823	2,284	3.14	3,691	13.6	31.1	331	248	15,371	404.1	54	19,154
2010/07～09	2,466	1,061	1,493	-1.3	5,292	56.6	39,223	142.5	334	18,283	207.6	104	57,444
2010/10～12	1,772	787	1,364	4,871	89.5	24.134	92.8	99	11,066	94.8	59	2,728	-21.9
2011/01～03	5,078	1,849	1,9	4,780	6,596	22.9	29,665	28.3	175	15,506	91.8	83	6,948
2011/02	1,531	551	14.8	1,431	2,342	115.5	9,885	40.0	44	5,040	112.5	23	2,044
2011/03	2,142	838	9.3	1,681	2,814	-14.6	12,631	13.3	79	6,046	52.6	41	4,183
2011/04	1,391	421	1,337	1,405	47.1	10,507	35.5	56	4,367	8.3	45	4,030	271.8
2011/01～2011/04	6,469	2,270	7.0	6,117	8,001	26.5	40,172	30.1	231	19,873	64.0	128	10,978
2011/04～2011/04	1,391	421	37.1	1,337	1,405	47.1	10,507	35.5	56	4,367	8.3	45	4,030

生産														
	数量	金額	数量	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比		
半導体・IC測定器	—	—	4,605	1.3	121,290	6,594	7.2	50,661	28.8	131,778	6.4	130,205	6.5	
その他の半導体・IC測定器	2,826	7,211	—	—	4,039	-26.9	123,760	6,791	17.6	53,765	38.3	133,123	9.7	
2010/04～06	—	—	832	22.0	30,968	1,542	43.3	12,355	68.5	25,696	4.7	25,318	4.7	
2010/07～09	—	—	964	-50.5	28,921	1,538	17.2	13,882	34.9	37,181	11.3	36,784	11.2	
2010/10～12	—	—	1,001	-13.4	31,798	1,557	8.8	12,580	33.6	32,550	20.2	32,108	20.1	
2011/01～03	2,826	7,211	—	1,292	-28.5	32,673	2,154	10.1	14,948	26.2	37,696	3.7	37,696	4.7
2011/02	502	2,781	—	392	-28.9	10,631	602	18.7	4,564	21.6	10,584	7.7	10,584	9.0
2011/03	462	2,402	—	540	-28.9	12,916	1,052	31.5	5,802	13.3	18,267	1.2	18,267	1.9
2011/04	197	2,110	—	299	31.1	10,817	41.9	-5.2	3,745	8.3	7,903	6.7	7,903	8.9
2011/01～2011/04	3,023	9,321	—	1,591	-21.9	43,490	2,573	7.3	18,693	22.3	45,599	4.2	45,599	5.4
2011/04～2011/04	197	2,110	—	299	31.1	10,817	41.9	-5.2	3,745	8.3	7,903	6.7	7,903	8.9

注) 主要製品であつても2以下の事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、秘匿の必要がある場合は「×」で示しています。

(金額:百万円、前年比:前年同期比増減率%)

下記の数値は修正されています。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください。

工業用計測制御機器								
生産	PA用計測制御機器				受信器			
	温度計	圧力計	流量計	差圧計	流量計	金額	数量	金額
2010(H22)暦年	786,071	10,273	-0.2	394,977	9,901	20.6	10,903	158,457
2010(H22)年度	819,570	10,444	-0.2	392,981	9,930	10.1	102,871	12,259
2010/04~06	185,722	2,398	-4.3	90,486	2,132	-0.2	20,792	2,086
2010/07~09	204,754	2,630	3.1	106,995	2,920	19.3	29,077	35.0
2010/10~12	211,495	2,547	4.6	106,318	2,470	20.3	29,277	31.67
2011/01~03	217,599	2,869	6.3	88,182	2,408	1.2	23,725	3,098
2011/02	72,490	907	10.5	29,035	778	3.5	7,156	949
2011/03	78,852	1,163	8.5	35,616	1,022	3.5	9,733	1,356
2011/04	79,058	1,027	33.7	27,293	657	3.0	8,235	679
2011/01~2011/04	296,667	3,896	12.4	116,475	3,065	1.6	31,960	3,777
2011/04~2011/04	79,058	1,027	33.7	27,293	657	3.0	8,235	679

工業用計測制御機器								
生産	PA用計測制御機器				受信器			
	プロセス監視分析計	プロセス監視制御システム	その他	測定機器	プロセス監視制御システム	デジタル計装制御システム	その他	測定機器
2010(H22)暦年	757,641	14,220	42.4	25,141	10,299	10.4	34,293	-2.0
2010(H22)年度	775,895	14,640	36.2	26,406	10,388	14.8	34,313	4.7
2010/04~06	180,747	3,328	5.7	5,438	1,833	30.0	5,352	-21.7
2010/07~09	198,662	3,735	4.5	6,527	2,642	16.0	10,185	-3.1
2010/10~12	204,399	3,802	4.1	5,557	2,305	18.9	8,543	63.3
2011/01~03	192,087	3,775	12.5	8,884	3,458	4.8	10,233	0.2
2011/02	70,040	1,313	1.8.3	2,494	1,025	7.4	2,338	7.3
2011/03	75,382	1,385	4.3	3,577	1,547	6.6	5,916	-20
2011/04	64,030	1,163	7.0	1,717	580	3.8	1,421	29.5
2011/01~2011/04	256,117	4,938	11.2	10,601	4,038	4.7	11,654	3.0
2011/04~2011/04	64,030	1,163	7.0	1,717	580	3.8	1,421	29.5

放射線測定器								
生産	環境計測機器				環境計測機器			
	数量	金額	前年比	数量	金額	前年比	数量	金額
2010(H22)暦年	18,894	12,479	5.1.2	58,644	21,870	11.9		
2010(H22)年度	17,532	11,502	26.3	56,067	21,621	8.6		
2010/04~06	1,593	1,329	36.0	14,018	4,833	12.9		
2010/07~09	5,214	4,026	80.1	14,476	5,327	19.2		
2010/10~12	2,670	2,404	10.9	14,544	5,455	11.1		
2011/01~03	8,065	3,743	-20.7	13,029	5,946	-4.0		
2011/02	2,355	1,114	21.6	3,930	1,848	-11.7		
2011/03	3,742	1,712	-42.6	4,864	2,495	0.5		
2011/04	696	694	44.6	4,513	1,532	2.3		
2011/01~2011/04	8,761	3,761	-14.7	17,542	7,781	-2.8		
2011/04~2011/04	696	694	44.6	4,513	1,532	2.3		

注)主要製品であつても2以下のこと事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、概要の必要がある場合は「×」で示しています。

計測会館・界限物語

春野うらら

2

店の入口には、大きな「大正八年創業」の看板が掛かっているのだが、中は、大正浪漫と言うほどの古さは無く、むしろ、「三丁目の夕日」の舞台となった昭和三十年代を思わせる雰囲気である。壁には、大分年季の入ったMENUと英文字で書かれた円形のお品書きが掛けられ、もう一方の壁には、どういう分けか、大きなお面が飾られている。頭上には、回ってはいないが昔のミルクホールにあったような古風な天井扇が取り付けられていて、その横には、アラジンの魔法のランプを逆さにしたような奇妙なシェードのついた照明がぶら下がっている。外側の窓の上側一列に填められたステンドグラスが、何ともレトロな感じである。

森下は、計測会館での会議のあと、この前に人形町に来た時の事が気になって、「ちょっと用事があるから」と同僚の誘いを態々断って再びこの人形町に来てしまっていた。実のところ、とりわけ用事も無かったのだが、しかし、今回折角ここまで来て、このまま帰るには忍びないと、そう思ったのだ。表の看板の「喫茶去」という文字が気になつてこの店に入った。どうやら、快生軒というこの喫茶店は、界隈では随分有名らしい。昨年放映されたTBSドラマの「新参者」にも登場したということだ。森下は、この「喫茶去」という字の意味が実に気になつたのだが、とにかく、店に入ると、直ぐに赤いビニール地の椅子を引きメニューを見るでもなく珈琲を一つ頼んだ。背もたれに頭を乗せるようにして天井を仰ぎ、目を閉じて両腕を半分重ねて腹に置いた。森下は、迷っていた。彼女に電話すべきか、それとも今日は大人しく……しかしあの日、終電を逃したのは誤算だった。都心の地下鉄がこれほど早く無くなるとは思つても居なかつたのだ。やはり、あの時、強引にでも帰るべきだったのか。いや、やはりあれはちょっと呑み過ぎだったな。そんな事を想いながらふと前を見ると、既に注文の珈琲は、さっき手にしたピンク色のメニューの横に無造作に置かれていた。きっと「お待たせしました」くらいの声は掛けられたに違ひないが、森下には、座つてからそれまでの間、全く無音の時間が過ぎたように思えた。

珈琲は、それほど濃い色でもなく少し透き通るような褐色で、カップの落ち着いた金色と良くマッチしている。味は、少々酸味はあるが、香りが高く美味である。森下は、二口ほどその珈琲をすすり、カップを置くと、ピンク色のメニューを手に取った。メニューの下の方に、「喫茶去」は「キッサコ」と読んで、禅の言葉で「お茶をどうぞ」という意味だと記されていた。どうやら、お茶を飲んだら、さっさと去れ！という意味では無さそうである。森下は、安心したようにメニューを置くと、今度は、やおら内ポケットから携帯を取り出してテーブルに置いた。しかし、それを開くでもなく、再び赤椅子の背もたれに体を預けた。

あの日、地デジは、どうやら映るようになつた。どうやらと言うのは、ハイチャンネルのNHKが未だ映らなかつたのである。まったく映つていなかつた原因は、テレビの置いてある部屋が共聴の末端で減衰が大きいのに、アンテナ線を2台ものレコーダーにくぐらせていくことだったのだが、直接繋げても完璧には映らなかつた。その時、森下はハッとした。あの日、「ブースター」を付けないと駄目ですと言つたら、「じゃあ、それもお願いできる？」と言われた事を思い出したのだ。そうだ、まだ用事は全部済ませていなかつた。

「あの時は、ごめんなさいね、節分の鬼役までやらせちゃつて。でも、助かつたあ、お店盛り上がつたしね。それと、テレビ、ありがとうございました」 ◇

「ああ、あのブースターといかいうの取り付ける件ね、森下さん、実はね、悪いんだけど、もう、あれ良くなつちやつたの。うん、良く映るようになつたっていうことじゃあ無くて、もう直す必要がなくなつちやつたってことなのよ」 ◇ 「どういうことなんですか、って言われたって、そんな、ひとことでは言えない事情なのよ」「じゃあ、森下さん、快生軒に居るんでしょ、私、今、そこに行くから」 ◇ 「…そう、そんなに長居できないって事なんだつたら、場所変えましょうよ、浜町にいいお店が有るの、ちょっと小うるさいオヤジが居るんだけど、私、常連だから大丈夫よ」 ◇

「そう、甘酒横丁をずっと明治座の方に行って、銀座あけぼのの次の通りを左に曲がつて……」 ◇ 『魚とら』っていうお店よ」「うちのお店は、今日は休みというか、開けないから時間はいぐらでもあるの、大丈夫よ」 ◇ 「じゃあ、『魚とら』で待ってるから」森下は、暫く時間をつぶしてから快生軒を出て、甘酒横丁を明治座の方に向かつた。路の両側の大きな街路樹が、新緑のアーチを作つて美しい。「下町の散歩道、甘酒横丁」と緑地に白抜きで描かれたのぼり旗が初夏の風になびいている。森下は、前回来た時にあの彼女が豆乳ドーナツを買った

「双葉とうふ店の前で、店頭に並んだ豆乳ドーナツと豆腐の唐揚を暫く眺めていたが、結局手を出すことなく、もう2、3軒明治座に寄つた『鳥忠』の前で再び足を止めた。

「すみません、親子焼きありますか？」

「あ、親子焼き、すいません、今日の分出ちやいまして、ごめんなさい。あの、普通の玉子焼きだったらまだあります……」「じゃあ、それひとつ下さい」森下は、この「鳥忠」の親子焼きが絶品だと訊いていたので、何時かお土産に買って帰

ろうと思っていたのだが、どうやら「親子焼」は、数量限定のようで買えなかつた。

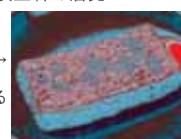
「あけぼの」の先を左に折れ二本目を右に曲がると、右側に「魚とら」の大きな袖看板が見えた。小料理、魚とら、の暖簾が掛かっているので店は開いているようである。森下は、格子戸を20センチほど引いて中を窺いて、直ぐにその戸を閉めようとした。店のテーブルに人影が無かつたからである。その時、カウンターの奥から「いらっしゃい」という声が掛かつた。森下は、その声で、一度閉めかけた戸をそこで止めた。

一番奥のテーブル席に通された。森下は、この先どう対応すべきか不安になりぎこちなく板前の顔を見た。「あの、連れが直ぐ来るとは思うのですが、暫く待たせて頂いて……」その時、表の戸が開いて彼女が飛び込んできた。「ごめんなさい森下さん！」 「ああ、玲ちゃんのお知り合いだったんですか」板前は、彼女の声を聞くと、急に優しい笑顔を森下に投げた。

森下は、席に着いた彼女から、直ぐに、以前には無かつた不安な表情を読み取つた。「あの、玲さん、それで、どうして良くなつちやつたんですか、その、直さなくて……」「だから森下さん、そんな、ひと言でこうだからって言えるような事じゃなくて……、まあ、いきなりそういう話も何なので、まずは、乾杯しましょうよ、再会を祝つてね」



快生軒の店先



↑入り口の創業
大正八年の看板
鳥忠の親子焼→
鳥肉のうまみが、
じゅわっと広がる

◆今号の表紙

石垣島の山の中、南国特有のシダが形よく並んでいました。

石垣島は沖縄本島から430km南方にあり、「八重山」という独特の文化圏をもちます。

ここに住む人々は本島に行くことを「沖縄に行く」と言います。

与那国島に行くと、さらにこの傾向は強く、お年寄りたちは遠くにかすむ台湾に望郷の念を抱いています。

使用機材：カメラ：Canon EOS5D Mark II
レンズ：EF70mm-200mm F4L IS USM
絞り：F8 シャッター速度：AE
露出補正：-1 1/3 EV

佐藤 健治

●JEMIMA会報

2011/Vol.48No.3 2011年7月20日発行

発 行 社団法人日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

本 部 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2-15-12 (計測会館)

電話03-3662-8184 (広報・展示部) FAX03-3662-8180

関西支部 〒530-0047 大阪市北区西天満6-8-7 (電子会館8階)

電話06-6316-1741 FAX06-6316-1751

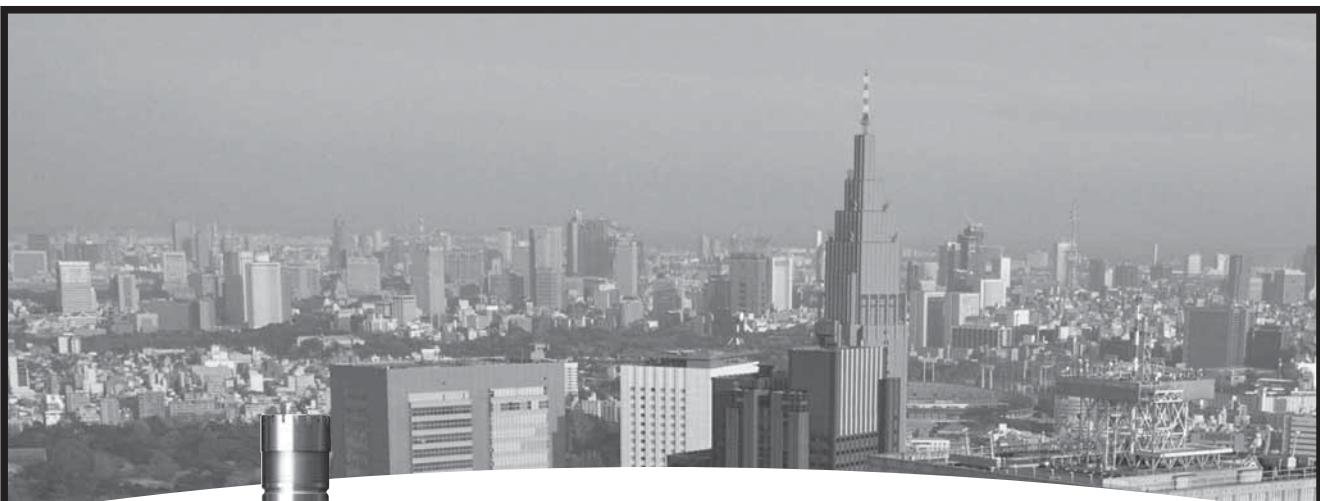
編集事務局 広報・展示部

印 刷 日本印刷株式会社

●JEMIMA会報への広告掲載申込およびJEMIMA会報送付先の変更・停止は、
katsuta@jemima.or.jpまでご連絡お願いします。

●次回発行予定 2011年10月20日

●禁無断転載



使いやすさを集結
計測を最大限サポートします



NEW
精密騒音計
NL-52 CE
普通騒音計
NL-42 CE

- 防水性 IP54(マイクロホン部を除く)
- 突然の電源断時に破損したデータを自動修復
- HELP機能によりマニュアルが不要
- 充電式の電池に対応
- 1ヶ月間(約1000時間)の連続測定が可能



お問い合わせ・ご用命は下記まで

<http://www.rion.co.jp/>



リオン株式会社

〒185-8533 東京都国分寺市東元町3丁目20番41号
TEL. 042-359-7887 FAX. 042-359-7458

技術相談受付 0120-26-1566
当社の休日および土・日・祝日を除く9:00~17:00

西日本(営) TEL. 06-6346-3671 / 東海(営) TEL. 052-232-0470 / リオン計測器販売(株) TEL. 048-813-5361 / 九州リオン(株) TEL. 092-281-5366



- 電圧
標準電池
標準電圧発生器 ほか
- 電力・電力量
電力計
標準電力量計 ほか
- 電流
標準電流発生器
標準分流器 ほか
- 抵抗
標準抵抗器
ブリッジ類(各種) ほか

- 位相・力率
位相計
力率計 ほか
- 変成比
計器用変圧器
変流器 ほか
- インピーダンス
標準コンデンサ
標準誘導器 ほか
- 周波数
周波数カウンタ
周波数計 ほか

電気



JEMIC
イメージキャラクター
「ミクちゃん」

安心の品質保証 校正試験は信頼と技術の

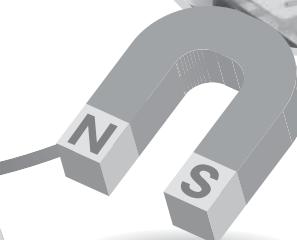
JEMICへ

温度

- 抵抗温度計
- 放射温度計
- 熱電対
- 光高温計
- その他温度計



磁気



JEMIC

- 標準磁石
- 磁束計
- 磁界発生器
- ガウスマータ

光

- 標準電球
- 照度計
- 標準蛍光ランプ
- フィルタ

JEMICでは、5月以降、新人研修に
ピッタリな「計測の基礎」、「校正技術
者養成講座」、「ISO/IEC 17025の世界」
等のセミナーを開催します。

企業ニーズに応えるネットワークと、
永年にわたる研究を基盤とする実績。
校正試験のことなら、
JEMICにご相談ください。

JEMICは、電気・温度・光・時間(周波数)についてJCSS校正を行っています。
「JCSS」ロゴマーク付きの校正証明書は
ISO/TS 16949等の規格の要求に対応できます。

- **JEMIC**では、LED光源の一般校正を行っています。項目は、CIE平均化LED光度、LED全光束、LED色度で、白、赤、緑、青の4色です。
- 高調波測定も実施しています。
- ISO/IEC 17025内部監査員研修や不確かさなどのセミナーも開催しています。

標準器・計測器の校正試験については下記へお問い合わせください

日本電気計器検定所

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-7 Tel.(03)3451-1181(代) Fax.(03)3451-1364
[校正試験窓口] Tel.(03)3451-6760 Fax.(03)3451-1497 <http://www.jemic.go.jp/>

中 部 支 社 〒487-0014 春日井市気噴町3-5-7 Tel.(0568)53-6331 Fax.(0568)53-6332 [校正試験窓口] Tel.(0568)53-6336
関西支社尼崎事業所 〒661-0974 尼崎市若王寺3-12-20 Tel.(06)6491-5031 Fax.(06)6491-5034 [校正試験窓口] Tel.(06)6491-5052
九 州 支 社 〒815-0032 福岡市南区塩原2-1-40 Tel.(092)541-3031 Fax.(092)541-2979 [校正試験窓口] Tel.(092)541-3033